

# 茨城に現れたUFO? うつろ舟奇譚は神栖市か?

神栖市波崎舍利浜海岸



「南総里見八犬伝」の著作などで知られる曲亭馬琴の随筆集「兎園小説」などに紹介されている「うつろ舟」の漂着したとされる場所を限定する史料が先ごろ見つかかり、歴史のロマンをかき立てています。

「うつろ舟」とは漢字で「虚舟」と書かれるもので、江戸時代(1803年2月22日)に茨城の海岸に漂着したものです。鉄製の円盤のような乗り物で上部にガラスのような窓が張られており、その中には明らかに日本人ではない女性が乗っており、大切に小箱を抱えていたそうです。

その船に気付いた漁師らが浜辺まで引き上げたそうですが、船の中には水や食料、敷物などのほか読めない文字が船内に書かれており、もちろん女性とはまったく会話を通じません。

このことを役所に届け出ると厄介なことになると案じた漁師たちは再び、この船を沖に流してしまっただけというのです。

これまで「常陸国」に漂着したことはさまざまな書物で明らかになっていましたが、新発見の史料では「常陸原舎り濱」と書かれており、漂着地が神栖市の舍利浜と思われるのです。

以前は、北茨城市、日立市、大洗町、銚田市などにたどり着いたとの諸説がありましたが、具体的な地名が残る史料は真実に迫るものになるのでしょうか?

このような真実と噂話の中間に位置する出来事の歴史は「稗史」と呼ばれています。馬琴の八犬伝もそのひとつですが、歴史を旅する人には伝説もかけがえのないもの。

うつろ舟はその後、一体どうしたのでしょうか?

〈参考文献〉「うつろ舟」(滋澤龍彦著)ほか



【問い合わせ】神栖市商工観光課 TEL.0299-90-1217  
【所在地】神栖市波崎舍利浜  
【アクセス】国道124号から海方面へ。近くには砂丘公園もある

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

## ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>